

全酪連会報 ②

2019 FEB No.641

若手後継者の本音／池田雄太さん

平成30年度
全酪連会員職員研修会

酪農トピックス／2019年南信酪農業協同組合
「新春交流会」開催される（東京）ほか

人事異動

日本酪農見て歩紀／(有)エルファーム・サカキバラ知多農場
(株)エルファーム・サカキバラ富士農場



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会

概況

霧島市は鹿児島県の中央部に位置し、県内で2番目の人口規模を有する市です。日本で最初の国立公園に指定された霧島連山には最高峰の韓国岳、天孫降臨の神話で知られる高千穂峰が連なり、坂本龍馬が日本人初の新婚旅行で訪れた場所としても有名です。また、薩摩地方と大隅地方、宮崎県を結ぶ交通の要所でもあり、空港や高速道路などのアクセスも良いことから、大手企業の生産拠点が置かれる地域でもあります。

今回ご紹介する農事組合 霧島第1牧場（以下、霧島第1牧場）は、鹿児島県酪農業協同組合（橋口弘代表理事組合長）に所属し、平成30年2月1日現在、経産牛191頭、未經産32頭、



池田雄太さん

今回は鹿児島県霧島市農事組合法人霧島第1牧場の後継者池田雄太さんにお話を伺いました。

育成65頭、哺育38頭、計326頭を飼養されています。月平均の出荷乳量は166t、年間出荷乳量は1,994t（29年1～12月実績）、現在、常勤組合員2名、雇用9名、計11名で飼養管理を行っています。

就農のきっかけ

私自身はここで育ち、子供の頃から酪農は身近なものでありましたが、既に兄が当牧場に従事しており、大学は酪農関係のところでしたが、地元で就農することは全く念頭にありませんでした。そして、一般企業に就職し10年が経過したとき転機が訪れます。

牧場経営が非常に厳しい状況に置かれたうえに、兄が体調を崩したことで人手も足らず何とかしてもらいたいという声がかかりました。その声を受け北海道や千葉で修行していた弟も地元に戻っていました。それでも人が足らず、何とか助けてもらいたいという声を受け、大きな判断でしたが会社を辞め就農することとなったのです。そうして霧島に戻った当時の私は、実家が酪農を営んでいたにも関わらず経験もほぼゼロで、せっかく酪農関係の学校も出ていたのに、人工授精師の免許すら持っていない状態でのスタートだったのです。

就農からこれまで

哺育管理の手伝いといった牛を見ることの初歩に始まり、2年目からは経理業務をと、徐々に経験を重ねました。それから10年ほど経ってから牧場運営を任せられることになりましたが、当牧場は歴史のある法人経営で、広大な圃場で自給飼料を生産し、後継牛もほぼ自家産、自家育成に取り組む経営スタイルでしたので、学ぶことも非常に多かったのを覚えています。当時は地元の農業普及所が簿記の夜間講座を開いており、そこで様々な農業に取り組む方と一緒に学びました。現場に近いところで生産者と一緒になって取り組む人の手助けもありましたが当時は本当に必死に学ぶ毎日でした。



牛舎全景

現在の取り組みと今後について

そうしたことを経て、この牧場の運営を任せられるようになりましたが、牧場経営は厳しく、特に個体乳量などの改善を図るため様々なデー

若手後継者の 本音

Vol.36



育成舎



牛舎内



パーラー



パンカーサイロ



広大な圃場

〔経営概況〕

所 属 鹿児島県酪農業協同組合(橋口弘代表理事組合長)

飼養頭数 経産牛 191頭、未経産 32頭、育成 65頭、哺育 38頭、計 326頭

先輩たちから受け継いだ この土地と牛たちと共に 変化を恐れずチャレンジを!

々を集め要因を分析しました。そうした努力の
かにもあり、ここ3年は生産日量33kgを連続し
てクリアできるようになるなど、経営改善を図
ることができました。そして、従業員の安定的
な確保を図るためにも交代制の導入や労務体系
の改善などに取り組みました。今もそうした
データを常に持ち歩き、経営の質の向上と維持
を図ることを常に心がけています。そして課題
をクリアしたいま、今後の規模拡大を含む次の
展開への準備に夢中で取り組んでいます。
経営改善したいま、大きな設備投資を行うこ
とにはリスクも伴うのですが、これから変りゆ
く酪農情勢や環境に対応するためには、経営の
質の向上は欠かせないと考えています。経営の
柱を増やし強化を図ることの重要性を様々な関
係者に粘り強く説明し理解してもらいました。

全国の若手後継者に対して

雄太さんは、自分が食べるために一生懸命に取り組んでいたら、いつの間にか現在だったと言います。自分の牛の状態や経営を客観的に見て要因を分析し、どうしたら改善できるかを常に念頭に置いて一生懸命取り組み続ける姿勢は多くの若手後継者にとって参考になるのではないのでしょうか。

実は雄太さんは、就農する前、全酪連の乳業工場に主に品質管理業務を担当していたそうで、そこで出会った多くの方に職業人としての基礎を学んだのだそうです。

何より物事を多面的に観察し、客観的事実に基づき判断する重要性などは、品質管理の業務を通して学んだことであり、現在の牧場運営において情報・人材活用などで大きく影響を与えているといいます。大きな転換期を迎え一生懸命に取り組む池田雄太さんの今後のご活躍とご健勝を祈念したいと思います。

全国の若手後継者の皆さんへ一言!

酪農を取り囲む環境は日々変化します。人材確保や市場開放など我々にも影響する事が気付けば進んでいます。日頃から高くアンテナを張り、自分の経営がどうしていけば良いかを考えましょう。そして恐れずに挑戦していきましょう。



平成30年度

全酪連会員職員研修会

全酪連では会員組織の機能強化及び職員のスキルアップを図ることを目的に今年も会員職員研修会を下記2カ所にて開催しました。

今年度の研修では、昨年に引き続き、消費税の軽減税率制度をテーマとして採り上げていただきました。

東日本会場研修内容

第1部

「消費税の軽減税率制度の実施に備える」

～酪農家と酪農組合における注意点

第2部

「軽減税率制度に対する

DMSシステム(全酪Saas)の対応について」

《講師》 森税務会計事務所 所長

森 剛一氏

西日本会場研修内容

「消費税の軽減税率制度について」

《講師》 財務省主税局税制第 課 課長補佐

加藤 博之氏

平成31年10月1日に現行8%から10%に引き上げられる消費税等(消費税及び地方消費税)の税率についての概要や対象となる飲食料品の範囲、区分経理、インボイス制度の概要、軽減税率通達16の取扱い、軽減税率実施後の季節別乳価の取扱い、乳代請求書の対応案について、酪農協サイドと酪農家サイドからの説明。

農畜産物の多くは軽減税率の対象品目ですが、観賞用の花卉のように対象品目にならないものもあります。また、肉用子牛のように生体で取引される家畜は軽減税率



▲ 森講師

の対象となりませんが、生体で出荷される肉用牛でも屠畜解体を委託して食肉市場で枝肉として取引されるものは軽減税率の対象となります。

なお、食肉市場では枝肉だけでなく内臓原皮も取引されますが、内臓は人の食用に供されるので軽減税率の対象となるのに対して、原皮は対象となりません。このため、これまで販売精算書では、内臓原皮の販売額

がまとめて表示されていましたが、今後は内臓と原皮とに分けて販売額を表示することになります。また、区分経理について、軽減税率制

東日本会場

平成30年11月1日(木)
東京八重洲ホール
(東京都中央区) 54名参加

西日本会場

平成30年12月20日(木)
岡山コンベンションセンター
(岡山県岡山市) 28名参加



▲ 東日本会場の様子



▲ 加藤課長補佐

度では、売上げや仕入れについて、取引ごとの税率により区分して経理する必要があります。たとえば、家畜を食肉市場で販売した場合、人の食用に供される枝肉や内臓、原皮は軽減税率の対象になりますが、原皮は対象となりませんので、軽減税率制度の実施後はこれらを別々の仕訳とすることになります。

なお、2023年10月から、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入されます。インボイス制度では、適格請求書及び帳簿の保存が仕入税額控除の要件となります。具体的には、仕入税額控除を適格請求書の税額の積上げ計算によって行うこととなりますが、従来通り、取引総額からの割戻し計

算の方法も認められます。インボイスは、登録を受けた課税事業者のみが交付をすることができ、インボイスの交付義務が課せられます。インボイスには、①事業者登録番号、②税率ごとの消費税額及び適用税率を記載しなければなりません。インボイス制度の導入により、免税事業者は適格請求書（インボイス）の交付が認められないため、免税事業者からの課税仕入れについては、原則として仕入税額控除ができなくなります。



▲ 西日本会場の様子

《参考》農畜産物における軽減税率の対象品目と対象外品目

作 目	対象品目＝軽減税率（8%）	対象外品目＝標準税率（10%）
水 稻	主食用米	飼料用米、種もみ
野 菜	野菜、食品として販売される野菜の種	栽培用（種苗用）の野菜の種子・苗
果 樹	果物	果樹の種子・苗木
花 卉	エディブルフラワー、菜花など食品として販売されるもの	観賞用の花卉
畜 産	枝肉・内臓	家畜の生体、原皮
酪 農	生乳、廃用牛（枝肉として販売されるもの）	子牛、初妊牛、経産牛

事務にたずさわる担当者の皆さんは熱心に説明を聞き、質問なども活発にできていました。長時間にわたる研修会でしたが、たくさんの方の会場でご参加いただき盛大におわりました。

当研修会のご質問・資料請求のご希望がございましたら、

全酪連 総務部
(03-5931-8003)

もしくは各支所指導組織課までお問合せください。

見て歩紀

No. 309

(有)エルファーム・サカキバラ知多農場
(株)エルファーム・サカキバラ富士農場

地域に根ざした新規就農者への支援体制の 取り組みと共に信頼の置ける仲間たちとの 規模拡大を目標とした乳肉複合経営

地域の紹介

愛知県半田市は、知多半島の中に位置し海運業と酒や酢などの醸造品づくりで栄えてきました。また消費地名古屋市の近郊という立地条件を生かして生鮮食品、畜産品、海産物など農業も併せて栄えてきた地域です。

愛知県酪農農業協同組合（以下…愛知県酪農協）（代表理事組合長杉浦弘泰氏）は、生乳出荷戸数270戸（平成30年10月現在）、生乳生産量は172,848t（平成29年度実績）となっています。

今回は、(有)エルファーム・サカキバラ知多農場（半田市）（以下…知多農場）と(株)エルファーム・サカキバラ一富士農場（静岡県富士宮市）（以下…一富士農場）を経営されている代表取締役の榊原一智氏を紹介します。



▲ 知多農場 正面

愛知県酪農協の事業の一つ「空き牛舎有効活用事業」。その事業に「認証牧場」として知多農場も全面的に協力しており、今年6月には自身の牧場で従業員である夫妻が新

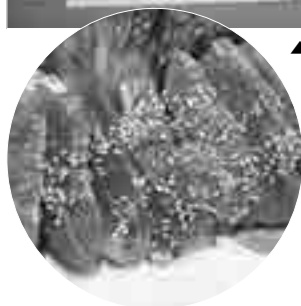




▲ 黒牛の里 この日も満席でした！



▲ 知多牛



▲ 知多牛
サシがしっかり入っています。



▲ 生産者の顔が見えます。



▲ 地元平和牧場の自家製ヨーグルト

知多地域は愛知県内でも有数の酪農地帯です。酪農形態は大型化が進

知多地域の酪農の特徴

規就農者第一号として同地区で就農しました。
この様に地域の活性化に向けて精力的に活動をされている方です。

牧場の概要

約80年前に榊原一智氏の祖父が乳牛を飼い始めたのがきっかけです。
約20年前には畜産業を周囲に理解して頂くには「地産地消」が必要と感じ地域限定の牛乳を販売してまいりました。また当時は6次

その当時は酪農業専門ではなく、野菜なども栽培する複合経営でした。その後、約38年前に乳牛を20頭まで増頭させて乳肉複合経営の基礎を構築して畜産業に特化しました。
約20年前には畜産業を周囲に理解して頂くには「地産地消」が必要と感じ地域限定の牛乳を販売してまいりました。また当時は6次

化産業という言葉もない時代でした。
また3年間、移動販売としてJ Aの各支店で精肉の販売を行い、そこで得たノウハウを生かして同じ地域の牧場（平和牧場・旬一英企業）と共同して平成10年から焼肉屋「溶岩焼き 黒牛の里」本店を開店。その後は「farm restaurant 黒牛の里」、「焼肉・ホルモン 黒牛の里 CLACITY 焼肉屋」と3店舗を運営しています。

経営の概況

「知多農場」では、代表取締役の一智さんが経営、妻の緑さんが事務、次男の孝樹さんが半田農場の副場長、両親は牧場の手伝いをしています。従業員として日本人スタッフ正社員10名、パート4名、ベトナムからの研修生10名で牧場を運営しています。

牧場は「知多農場」以外にも「一富士農場」、近隣の常滑市にも牧場



▲ 知多農場 肥育牛舎

が3ヶ所あります。
飼養頭数は総数で1,600頭と
なります。本場である「知多農場」で
は搾乳牛300頭、肥育牛350頭
が飼育されています。また近隣の牧
場では肥育牛450頭が飼育されて
います。静岡県富士市にある「一富



▲ 知多農場 搾乳牛舎

▲ 知多農場 乾乳牛舎



▲ 知多農場 隣の敷地には育成牛舎を建設中



▲ 知多農場 肥育育成牛舎

士農場」では搾乳牛500頭が飼育
されています。
生乳生産量は「知多農場」では日
量7.5t、「一富士農場」では日量
14t生産されています。
初妊牛は基本的に導入という形を
取っています。



▲ 一富士農場 牛舎



▲ 一富士農場 肥育牛育成パドック



▲ 一富士農場 搾乳室

これだけの頭数を飼養していく中
で、周囲の耕種農家とも協力して自
給粗飼料の生産に取り組んでいます。
ソルゴー・えん麦・WCSを供給し
ていますが不足分は購入粗飼料で
補っています。
搾乳牛舎はフリーストール、フ
ラッシュバーンのスタイルでベッドは
240床を有しています。敷料は戻
し堆肥を用いているのが特徴です。
搾乳室は16頭ダブルによるヘリン

グボーンミルキングパーラーを採
用しています。
飼料給餌も自動化が図られてお
り自動給餌器による飼養管理がな
されています。
繁殖に関しては今までは人工授
精による和牛精液、ET和牛を
中心に行ってききましたが、これか
らは後継牛確保も兼ねて雌雄判別
精液も付け始めているとの事で
した。



地域活動として

現在、愛知県酪農協の理事として組合運営にご尽力されております。その愛知県酪農協の事業の目玉の一つに「空き牛舎有効活用推進協議会」があります。

2015年に設立、2年後の2017年より本格的に「空き牛舎有効活用事業」が動き出しました。全国的に離農による生乳生産量の減少は歯止めが効かない状況となっています。ここ愛知県でも同様に生乳生産量の維持は非常に



▲ 知多農場 榊原社長と従業員及び関係者

厳しくなっています。

愛知県内で廃業して利用しなくなった牛舎を活用して希望する人材が円滑に酪農経営に参入できる支援体制を構築することを目的としています。愛知県は典型的な都市型近郊酪農であるために新規就農には土地取得を始め初期費用は莫大なものになります。また畜産に対する優遇制度は他の業種と比べると低く、愛知県酪農協としてハードにかけの予算はありません。そこで廃業農家を買取りまたは賃借して自身の規模拡大また経営者として



▲ 一富士農場 従業員の皆さん

人材育成を行うことが出来る県内の酪農生産者に立候補して貰い、その方を愛知県酪農協が「認証牧場・研修センター」という位置づけで事業を開始しました。

この事業では「知多農場」は研修センターとなります。新規就農を夢見ている人材を従業員として雇用し、その人材は従業員でありつつ新規で牛舎を取得し自身の牧場と従業員の兼業という形をとることになります。

その上で将来、新規就農者は時間をかけて専業として独立するのかまたは兼業として進むのか考える余裕が出来ます。

今年6月には新規就農者第一号を輩出しました。

一智氏は「若者が参入してこない産業には未来はない。これから新規就農を夢見る若者を受け入れていきたい」と語っています。

6次化産業について

地産地消と叫ばれる以前より地元で生産した生乳を地元の人に飲んで貰おうと当時地元の本拠地を構えていた農協プラントで知多産の牛乳を供給していました。

また同じ様に肥育事業に取り組んでいた一智氏は地元の多くの方にもっと知多牛を知って貰おうと移動販売から始まり他の酪農生産者による共同経営で店舗を構えるまでになりました。

「黒牛の里」は4等級以上の知多牛のみを取り扱っており、食材も全て地元の生産者のものを扱っています。連日大変賑わっており多く関係者も利用しているとの事です。

終わりに

全国的に生乳生産量が減少していく中、愛知県知多地域も同様に生産量は非常に厳しい状況です。取材当日は非常に寒く年の瀬が迫る中でした。忙しい折に快くご協力頂き有難うございました。

取材の中でご自身の夢をお伺いした際に「これからも従業員やみんなと一緒にお酒を飲める事が夢」と語っていました。

こと地域と連携して活動を行っていくという考えに深く感銘を受けました。これからもしっかりと地元根づいて地域の活性を見つめ続ける榊原一智氏と関係者のご健康とご発展を祈念します。

東京
支所発

2019年南信酪農業協同組合 「新春交流会」開催される

1月21日(月)長野県松本市のザ・ブライトガーデンにおいて南信酪農業協同組合（柳澤宏代表理事組合長）の「2019年新春交流会」が開催されました。



▲ 柳澤組合長による 開会挨拶

『南信酪農協は県広域に組合員さんがいますが、今年も多くの組合員の方の出席があり、また皆さんの元気な顔を見ることができて嬉しく思います』との柳澤組合長のご挨拶があり開会されました。懇親会では地元松本市で活動するママさ

んアカペラサークル『松本マ
マカペラ』の歌唱鑑賞やお楽
しみ抽選会といったプログラ
ムで大いに盛り上がり、出席
者93名の多くの笑顔が見ら
れる交流会となりました。



▲ 三村副組合長による
閉会挨拶

『来年も皆さんとこの場で
会えるように、健康に1
年を過ごしましょう』との三村誠一副組合長の閉会
のご挨拶を以って閉会となりました。(N.T)



▲ 懇親会



▲ お楽しみ抽選会



▲▶ 松本ママカペラコンサート
長野県歌『信濃の国』ほか5曲を鑑賞



名古屋
支所発

愛知県酪農協青年女性部 「ボウリング大会」開催

1月16日(水)に岡崎サンボウルにおいて、毎年恒例の愛知県酪農農業協同組合青年女性部（岩田周部長）主催のボウリング大会が開催されました。

参加者は県内全域から集まった青年女性部員とその従業員で、総勢27名でした。

11時半にゲームをスタートし、男子の部と女子の部に分かれて2ゲーム合計のスコアを競い合いました。



▲ 岩田部長挨拶

ゲームは男女ともにストライクが続出するハイレベルな展開で、ピンが倒れるたびに歓声が湧き起こりました。

ゲーム終了後は近くのレストランに移動して、表彰式と懇親会を行いました。

懇親会では、仕事のことや地域のことなど、情報交換も熱心に行われました。

また3月14日(木)～15日(金)に5年ぶりに地元愛知県において開催される、第48回中部酪農青年女性酪農発表大会での再会を皆で約束しました。（Y.K）



▲ 開会式



▲ ハイレベルな戦い



▲ 懇親会開始



▲ 料理はしゃぶしゃぶ食べ放題

名古屋支所管内

- 西尾市吉良町公民館
 - 「西尾市食育推進事業」(愛知県西尾市)
- 開催日:平成30年11月1日(木)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合青年女性部 1名



- 西尾市文化会館
 - 「にしお産業物産フェア」(愛知県西尾市)
- 開催日:平成30年11月3日(土)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合青年女性部他 4名



- 吉良コミュニティ公園
 - 「きらまつり 2018」(愛知県西尾市吉良町)
- 開催日:平成30年11月10日(土)～11日(日)
- 参加者:吉良酪農組合、事務局、きらまつり実行委員他 7名

- 愛知県名古屋市中区パレス
 - 「国産ナチュラルチーズ博in名古屋」(愛知県名古屋市)
- 開催日:平成30年11月11日(日)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合青年女性部、酪農家 1名

- 愛知県西尾市コンベンションホール
 - 「酪農産業について」(愛知県西尾市)
- 開催日:平成30年12月22日(土)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合青年女性部 1名

- 栗田牧場
 - 「冬休み農産物産ツアー」(愛知県岡崎市美合町)
- 開催日:平成31年1月4日(金)
- 参加者:酪農家他 3名

- 阿久比町役場
 - 「阿久比町産業まつり」
- (愛知県知多郡阿久比町)
- 開催日:平成30年11月17日(土)～18日(日)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合尾張支所、酪農家他 20名



酪農業に対する理解醸成活動報告

後編 その2



- 愛知県畜産総合センター
 - 「2018 畜産フェスタ」(愛知県岡崎市)
- 開催日:平成30年10月28日(日)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合、中央製乳株式会社、中部化成薬品株式会社、酪農家他 15名

- 片岡牧場
 - 形埜小学校「中央製乳(株)工場見学・片岡牧場バルク室見学」
- (愛知県岡崎市)
- 開催日:平成30年10月31日(水)
- 参加者:酪農家他 2名

- 殿橋下流乙川河川敷
 - 「岡崎城下家康公 秋まつり」(愛知県岡崎市康生町)
- 開催日:平成30年11月3日(土)～4日(日)
- 参加者:岡崎市所青年女性部他 3名
- (11月4日(日)は、岡崎市所青年女性部他 2名)

- 形埜保育園
 - 形埜保育園「子牛ふれあい体験」(愛知県岡崎市)
- 開催日:平成30年11月14日(水)
- 参加者:中央製乳株式会社、愛知県酪農農業協同組合、酪農家他 4名

- 片岡牧場
 - 豊富小学校3年生「牧場見学・体験」(愛知県岡崎市)
- 開催日:平成30年11月15日(木)
- 参加者:全国酪農農業協同組合、獣医、酪農家他 4名



- 武豊町民会館
 - 「第35回武豊町産業まつり」(愛知県知多郡武豊町)
- 開催日:平成30年11月10日(土)～11月11日(日)
- 参加者:愛知県酪農農業協同組合尾張支所、JA、酪農家他 15名
- (11月11日(日)は、愛知県酪農農業協同組合尾張支所、JA、酪農家他 17名)

平成31年



「各地域酪農青年女性会議 酪農発表大会」開催のご案内

開催日／発表大会

開催場所

3月26日(火)

第47回北海道酪農青年女性会議
酪農発表大会

北海道「京王プラザホテル札幌」

〒060-0005

北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1

TEL:011-271-0111

3月19日(火)～20日(水)

第48回東北酪農青年女性会議
酪農発表大会

山形県「古窯^{こよう}」

〒999-3292

山形県上山市葉山5-20

TEL:023-672-5454

3月19日(火)～20日(水)

第48回関東甲信越酪農青年女性会議
酪農発表大会

茨城県「ホテル テラス ザ ガーデン水戸」

〒310-0015

茨城県水戸市宮町1-7-20

TEL:029-300-2500

3月14日(木)～15日(金)

第48回中部酪農青年女性
酪農発表大会

愛知県「ロワジールホテル豊橋」

〒441-8061

愛知県豊橋市藤沢町141

TEL:0532-48-3131

4月18日(木)～19日(金)

第50回西日本酪農青年女性会議
酪農発表大会

徳島県「阿波観光ホテル」

〒770-0833

徳島県徳島市一番町3-16-3

TEL:088-622-5161

4月24日(水)～25日(木)

第48回九州酪農青年女性
酪農発表大会

熊本県「熊本ホテルキャッスル」

〒860-8565

熊本県熊本市中央区城東町4-2

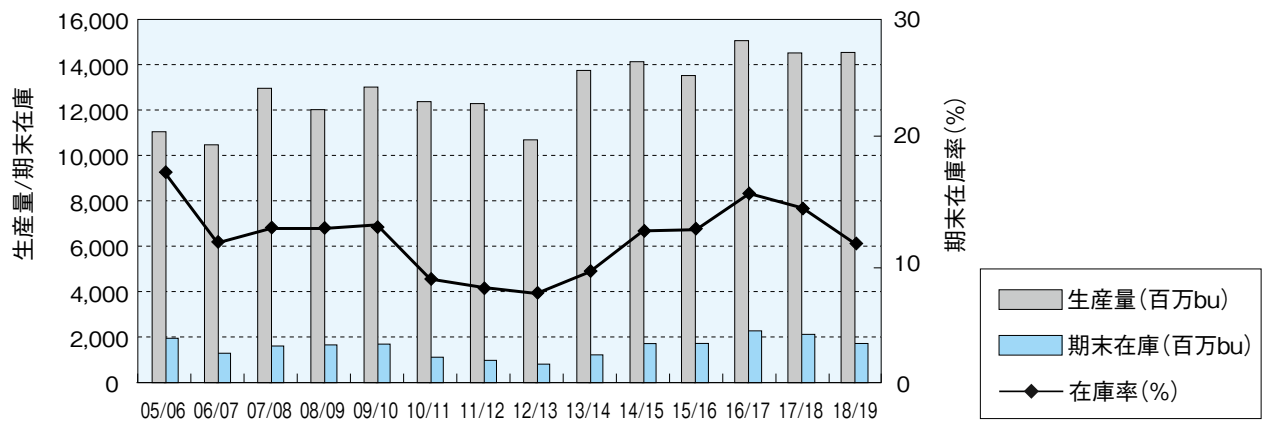
TEL:096-326-3311

お申込み・お問い合わせは、最寄りの全酪連支所まで

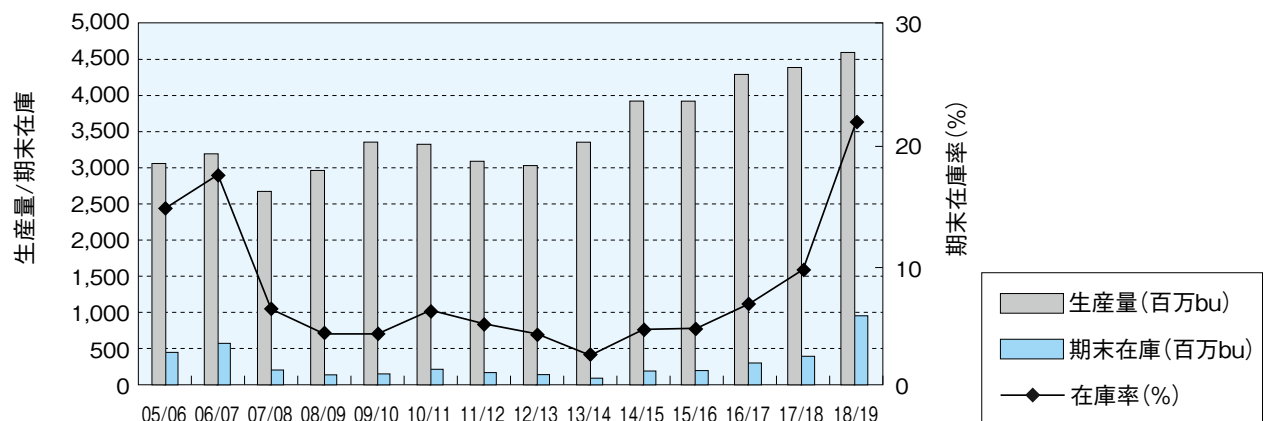


米国農務省 トウモロコシ 需給予想 ※1月USDA 需給発表は 延期		17/18年産	18/19年産
	作付面積 (百万エーカー)	90.2	-
	単 収 (ブッシェル/エーカー)	176.6	-
	生 産 量 (ブッシェル)	146億400万	-
	需 要 量 (ブッシェル)	147億9,300万	-
	期末在庫 (ブッシェル)	21億4,000万	-
	在 庫 率	14.5%	-
トウモロコシ 相場動向	トウモロコシ相場は米中関係軟化の期待を受け上昇した大豆につられる形で上昇した。さらにこれまで順調と思われていたブラジル産トウモロコシがここにきて乾燥懸念が生じている。ブラジル産トウモロコシの減産に関する具体的な数字が出てくると相場はさらに強含みで推移していくと思われる。中国が米国産小麦を買ったとの話も出ており、他の商品の動きに影響されやすくなっている。今後は米中通商問題と南米の天候に注意が必要である。		
大豆粕相場動向	大豆は年末に報道された米中関係軟化の期待から年明け後、急騰した。その後、大きな進展はないものの、アルゼンチン北中部での豪雨による作付面積減少、ブラジルでの乾燥懸念から減産見通しから相場は堅調に推移している。中国が米国産大豆を買付けの噂も市場では流れており、買付けを行った際の急上昇に注意が必要である。		
槽糠類	【一般フスマ】 ふすまの需給は依然として引き締まっており、関連する小麦粉も厳しい状況である。今後の挽砕量の増加に需給改善の期待がかかっている。米ぬかも米の消費量減少により需給が引き締まっている。		
	【グルテンフィード】 国内の工場では定期修理に入っている所もあり、稼働は停止している。停止前の在庫や輸入品を用い、今の所需給は適正で推移している。		
海上運賃	パナマックス市況は11月に底打ち反発してから大きな動きはなく、年明け以降ケーブサイズ市況の上昇にも引っぱられず横ばいでの推移となった。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

平成31年1月

北米コンテナ船 フレート	各船社、2019年から既存の海上運賃に加え、新たにチャージ・費用を設定する動きが見られます。地球温暖化への対策として2020年に船舶の燃料における硫黄の含量について規制が強化されるためです。この規制によって環境に優しい低硫黄重油燃料やLNG（液化天然ガス）への移行、もしくは従来の燃料で規制に対応するための設備投資などが必要となり、2019年から荷主に向けて追加費用を適用する動きが具体化してくる見込みです。多くの船社は、燃料の変更によって規制に対応する予定となっており、新燃料の需要増による値上がりを見越した新たなチャージ・費用の導入と言えます。
ビートパルプ	【米国産】 新穀の収穫作業は、収穫期の悪天候の影響もあり、前年に比べ約1カ月遅れの11月末に終了しました。収量は軒並み当初の見込みを下回っており、また例年よりも早い寒波の到来により、一部地域では圃場の凍結により収穫を断念したことなどが影響し大幅な減産となりました。 現在のところ、収穫されたビート大根の保管状況は良好ですが、今年はエルニーニョ現象が予想されており、生産地の冬季間における気温の上昇をもたらす可能性があり、保管中のダメージなどが懸念されます。
アルファルファ	【ワシントン州】 輸出向けおよび米国内酪農家からの高成分品に対する需要は引き続き旺盛で、産地在庫はほぼ完売となっています。内外からの強い引き合いは、19年産の新穀まで続く見込みで、産地相場は高値張り付きのまま推移すると考えられます。主産地コロンビアベースンの19年産の作付面積は18年産とほぼ変わらないと予想されています。 当地区は本格的な冬に入っており、コロンビアベースンを横断する道路が雪によって通行止めになり輸送にしばしば遅延が発生しています。シアトル/タコマ港でも荒天により本船のスケジュールが乱れており、デリバリー面ではしばらくの間注意が必要と言えます。
	【オレゴン州】 南部クラマスフォールズ、中部クリスマスバレーの両地区とも前月から産地情勢に大きな変化はありません。高成分の上級品に対する米国内酪農家からの引き合いは引き続き強く、産地価格は高値のまま堅調に推移しています。
	【カリフォルニア州】 南部インペリアルバレーでは18年産の収穫は終了しています。 中国からの需要は関税の影響により、一時的に落ちついていましたが、関税が課される以前に輸入された中国国内の在庫もなくなりつつあります。米国産への関税が発令されて以降、中国ではEU産の輸入量も増えましたが、米国産に比べ高額な海上運賃に加え、EU圏内の産地相場の高騰を招いたことで価格競争力を失っています。結果として、需要は徐々に米国産へ回帰していく可能性があります。一方で米国内の各産地に余剰在庫は無く、需要を満たす数量が容易に揃う状況とは言えません。
チモシー	【米国産】 18年産の米国産チモシーはグレードを問わずほぼ成約済となっており、特に発生量が少なかった上級品は完売となっています。このため、今後の追加買付は難しい状況と言えます。日本および韓国からの引き合いは引き続き堅調で、豪州産オーツヘイの不作の影響から米国産チモシーへの引き合いも増加することが予想されるため、産地相場は弱含む要素に乏しく、新穀までは現状のまま高値で推移するものと予想されています。
	【カナダ産】 18年産のカナダ産チモシーは主産地アルバータ州における早魃の影響により例年よりも発生量が少なく、また、日本および韓国からの引き合いも強いことから産地在庫は一部の低級品を除いてほぼ成約済となっています。産地相場については、上述の理由に加えて、早魃の影響でカナダ国内の自給粗飼料も不足していることからチモシーへの需要が高まっており、産地相場は大幅に上昇したまま米国産と同様に現在も高値で推移しています。
スーダングラス	主産地インペリアルバレーにおける余剰在庫は限定的となっています。茎細の上級品についてはすべて成約済となっており、中～低級品で一部在庫が残っている状況です。しかしながら、豪州産オーツヘイの生産量減少と価格の高騰を受け、安価なイネ科牧草としてスーダングラスの中～低級品への需要が高まっており、また、米国内の肥育牛農家からの需要も堅調であることから産地相場は強含みに推移しています。
クレイグラス	クレイは全酪連の登録商標です。 12月15日時点の作付面積は前年同月比+119%となっています。好調な産地相場を背景に、作付面積は前年に比べ大きく増加しており、19年産は生産量の増加が期待されます。日本および韓国からの需要は引き続き旺盛な状態が続いており、特に自給粗飼料の生産状況が良くなかった韓国からの需要はさらに高まっています。このため産地相場は引き続き堅調に推移しています。 産地在庫はほぼ完売となっており、良品の追加買付は難しい状況です。昨年に続き、極めて低い在庫率のまま新穀を迎えるため、収穫のスタートとともに強烈な引き合いが入ることで相場が過熱する恐れがあり注意が必要です。
ストロー類	ストロー類については、自給粗飼料が不足している韓国および中国産稲わらの供給懸念が続いている日本からの需要が引き続き堅調となっています。結果として、2018年9月～11月の3ヶ月間のライグラスストローおよびフェスクストローの日本の輸入数量は前年同期比でそれぞれ103%、118%と増加しています。 産地では生産農家がさらなる相場上昇を期待し、在庫を抱えている状況で産地相場は今後一段と上昇していく可能性があります。
オーツヘイ	【豪州産】 2018年産の豪州産オーツヘイの生産は終了し、ストロー類の収穫作業が終盤を迎えています。 産地の供給力不足に加えて、日本および韓国からの需要は引き続き堅調であり、豪州国内からの引き合いも強まっていることから産地相場は発生量が限定的となっている上級品を中心にさらに上昇しています。中国向けは高値を嫌って直近の荷動きはやや鈍っているようですが、年明けから旧正月に向け新たな引き合いが盛んに入り出しているようです。 高値にもかかわらず旺盛な需要は維持されているため、各サプライヤーの工場は軒並みフル稼働となっており、急なオーダーや変更が利きにくい状況となっており、計画的かつ早めの発注が必要な状況です。

人事異動

新	旧	氏 名
■平成31年2月1日付異動発令		
監査室長	東京支所長	関 和 次 男
購買生産指導部 飼料製造課長代理	福岡支所 南九州事務所長	須 藤 大 吾
購買生産指導部 畜産課長代理	札幌支所 畜産課長	坂 本 敬 太 郎
札幌支所 帯広事務所長代理	購買生産指導部 飼料製造課	鈴 木 孝 明
東京支所長	福岡支所長	工 藤 文 彦
福岡支所長	福岡支所 次長 兼 畜産課長	鈴 木 有 希 津
福岡支所 南九州事務所長	福岡支所 購買推進課	三 枝 岳 敬
北福岡工場 次長 兼 原料課長	狭山工場 次長 兼 総務課長 兼 品質管理課長	金 野 涉
北福岡工場 製造課長	北福岡工場 原料課長	松 田 光 男
購買生産指導部付外向 (一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	監査室長	深 井 厚 夫
購買生産指導部付外向 全国酪農飼料(株) 管理部長	企画管理部 総合企画室	内 海 安 則
購買生産指導部付外向 全国酪農飼料(株) 鳥栖工場長	購買生産指導部付外向 全国酪農飼料(株) 釧路工場	直 井 順 一
購買生産指導部付外向 (株)日本ミルクプレイサー工場長代理 兼 品質管理課長	購買生産指導部付外向 全国酪農飼料(株) 鳥栖工場	安 田 稔 高
■平成31年2月1日付昇格発令		
企画管理部 総合企画室課長	企画管理部 総合企画室課長代理	吉 永 順 一
企画管理部 情報システム課長	企画管理部 情報システム課長代理	鈴 木 元 明
企画管理部 情報システム課 主事	企画管理部 情報システム課長	高 橋 寛
東京支所 次長 兼 購買畜産課長	東京支所 購買畜産課長	渡 邊 和 典
福岡支所 畜産課長	福岡支所 畜産課長代理	名 本 修
狭山工場 品質管理課長	狭山工場 品質管理課長代理	楨 英 紀
■平成31年2月1日付兼務発令		
札幌支所 畜産課長 兼 帯広事務所長	札幌支所 帯広事務所長	佐々木 俊 介
狭山工場長 兼 総務課長	狭山工場長	津 田 知 亮



乳牛産地情報

平成31年2月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▲……やや強含み →……横這い ▲……やや弱含み ▼……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40~50	▲	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で96.3%、累計で100.1%、苫小牧管内月計で95.1%、累計で98.1%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われます。1月の同地域の乳牛市場はやや強含みの相場展開となりました。今後春産みを求める動きが、さらに活発化する事が予想され、庭先購買で選ぶ中クラス以上の初妊牛もやや強含みの動きとなると予測されます。出回り頭数は他の地域と比べますと少ないですが、優良な成績付きのものも出てくる地域ですので、ご希望がございましたらお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	82~92	▲	
	経産牛	47~52	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	52~62	▲	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で98.8%、累計で100.0%、中標津管内月計で99.2%、累計で100.0%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩が中心となります。1月の管内乳牛市場では春産みとなり、道内外のメガ・ギガファームの導入意欲も高く、また地元の規模拡大農家等の導入も重なり強含みの相場となりました。2月の庭先購買もやや強含みでの動きになると予想されます。育成牛につきましては、春産みとなる月齢の上場頭数も増え、初妊牛価格も堅調に推移していることから、やや強含みで推移するものと思われます。資源状況につきましては、例年通りの頭数は確保出来る状況となっておりますが、F1腹が少なく、雌雄選別腹が増えている状況となっております。
	初妊牛	90~100	▲	
	経産牛	60~70	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	45~55	→	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.9%、累計で103.3%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われます。1月の道内各地域の乳牛市場での初妊牛価格が堅調に推移したことから、2月のこの地域の庭先購買も強含みで動くものと思われれます。資源としては、F1腹・雌雄選別腹の出回り頭数は多く、十分に確保できるものと思われます。和牛授精卵移植腹は、牛なり、授精卵のランクともに上クラスのものとなると、120万円以上の価格となります。また、初妊牛価格が上がると、連動して経産牛の需要も高くなることから、経産牛価格もやや強含みの相場展開になるものと思われます。
	初妊牛	95~105	▲	
	経産牛	55~65	▲	
道北管内	育成牛(10-12月令)	45~55	→	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.6%、累計で98.7%、北見管内では月計で101.1%、累計で101.8%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、4~5月分娩予定中心で動くものと思われます。1月の当地域の乳牛市場が強含みで推移したことに加え、今後道内外において、春分娩の需要が更に高まることから、2月の庭先購買における初妊牛価格は、やや強含みで推移するものと思われれます。資源については頭数はいるものの、F1腹が雌雄選別と比較すると少ない状況ですが、逆に需要はF1腹の方が高いため、価格がより高くなると思われます。
	初妊牛	85~95	▲	
	経産牛	50~58	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	47~57	→	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は99.6%、累計で101.0%の実績となっております。2月の初妊牛動向といたしまして、需要の高い春分娩中心になることや、1月乳牛市場相場も強含みで推移していることから、強含みでの推移と予想されます。メガ・ギガファームの安定した導入意欲に加え、来年度の乳価引き上げの決定に伴い、道内酪農家の生産意欲も高まる事が予想され、引き続き初妊牛価格は堅調に推移するものと思われれます。今後の資源動向に注視し、庭先選畜購買を中心とした安定した搾乳素牛を供給して参りますので、導入希望・計画がございましたらお早めのご注文を宜しくお願い致します。
	初妊牛	90~100	▲	
	経産牛	55~65	→	

今月の表紙

今月の表紙は、「第9回酪農いきいきフォトコンテスト」(第47回全国大会にて開催)で応募頂いた作品「初めまして よろしくね!」(北海道富岡一也氏 撮影)です。



編集後記

- インフルエンザの流行で全国的に注意報が出ていますので、みなさまどうぞご自愛ください。
- 3月中旬から各地域酪農青年女性会議酪農発表大会が開催されます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

平成31年2月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 2月号 No.641

●編集・発行人 戸辺誠司

●発行 全国酪農協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



元気いっぱいウシ

寄居町立折原小学校(関甲信)3年 若林 幸来

今月の入賞作品は…

寄居町立折原小学校(関甲信)3年の若林 幸来さんの作品です。

しっかりとした描写と様々な画材と技法で表現された作品。クレヨン、水彩絵の具、サインペン、色鉛筆、切り絵技法、にじみ技法など巧みに使って楽しさと賑やかさのある元気いっぱいを表現しています。この作品を観ると元気が貰えそうな楽しい作品です。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第45回らくのうこどもギャラリー」で全国833点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議